

令和7年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	11	議席 番号	11	氏名	岩 村 恵 美 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1 トイレトレーラー導入について				近年、日本国内においても異常気象に見舞われる中、あまりに早い梅雨明けや6月から9月に入っても猛暑が続き、各地で線状降水帯が発生し局地的な大雨による被害が多発している状況である。激甚化・頻発化する自然災害に対する備えはこれまで以上に重要度を増している。また、「令和6年の能登半島地震」に見るように、災害時にはライフラインの断絶が深刻な問題となる。市議会令和6年2月定例会において、鈴木弘議員が災害対応や社会的備蓄として一般質問しており、これも踏まえて伺う。 (1) トイレトレーラーの有用性について、本市の見解を伺う。 (2) 導入に当たっての課題や問題点について、本市の考えを伺う。 (3) 緊急防災・減災事業債、寄附、ふるさと納税やクラウドファンディングを活用したトイレトレーラーの導入について。 (4) 導入する場合、各部署、所管を横断して協議していくと思うが、財源、保管場所、イベント時の活用、平時の活用について、見解を伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長
2 公立学校体育館の空調設備について				国の第7次エネルギー基本計画で、避難所となる小中学校への発電機及びGHP併設が明記されている。そうした状況も踏まえて、先日、各関係部署の職員の皆さんや議員に参加していただき、GHPの市場動向、どのような商品なのか、特長、節電効果、学校空調（熱中症対策、避難所としての体育館空調）、導入事例の研修会に参加してきた。これを踏まえて以下伺う。 (1) 市内の公立小中学校体育館における空調設備の整備状況について、現時点での整備率と、避難所としての機能を果たす上での課題をどのように捉えているか。 (2) 国の第7次エネルギー基本計画では、災害対応力の強化と省エネの両立が求められており、GHPの導入が推奨されているが、本市としてこの方針をどのように受け止め、今後の整備計画に反映させる考えはあるのか伺う。 (3) GHP導入に当たっては、文部科学省の「学校施設環境改善交付金」などの国の補助制度が活用可能とされているが、本市としてこれらの制度を活用し、体育館空調整備を進める意向はあるのか。 (4) GHP導入に際して、地元業者との連携による施工体制の確保や、地域経済への波及効果についても考慮すべきと考えるが、市としてそのような視点を持っているのか。		市長 副市長 教育長 関係部長